

令和6年10月17日
総合教育会議 資料I

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想の推進について

【心のバリアフリー教室】

都市政策課



【茅ヶ崎市バリアフリー基本構想概要】

基本理念

だれもが安心して過ごせるまちづくり

目 標

- ・ だれもが移動しやすい都市基盤のバリアフリーの推進
- ・ だれもが利用しやすい生活基盤のバリアフリーの推進

➡ ハード面の取組：改修工事

- ・ ひと・まちを育て支える心のバリアフリーの推進

➡ ソフト面の取組：心のバリアフリー教室



【心のバリアフリー教室概要】

心のバリアフリーとは

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと

(平成29年2月 関係閣僚会議決定より)

心のバリアフリー教室の目的

子どもたちが「心のバリアフリー」を理解し、実践する気持ちを育む

心のバリアフリー教室の課題

- ・ 障がいのある人の思いを知るだけで終わらない工夫
- ・ 目に見えない障がいの伝え方
- ・ 将来の全校実施

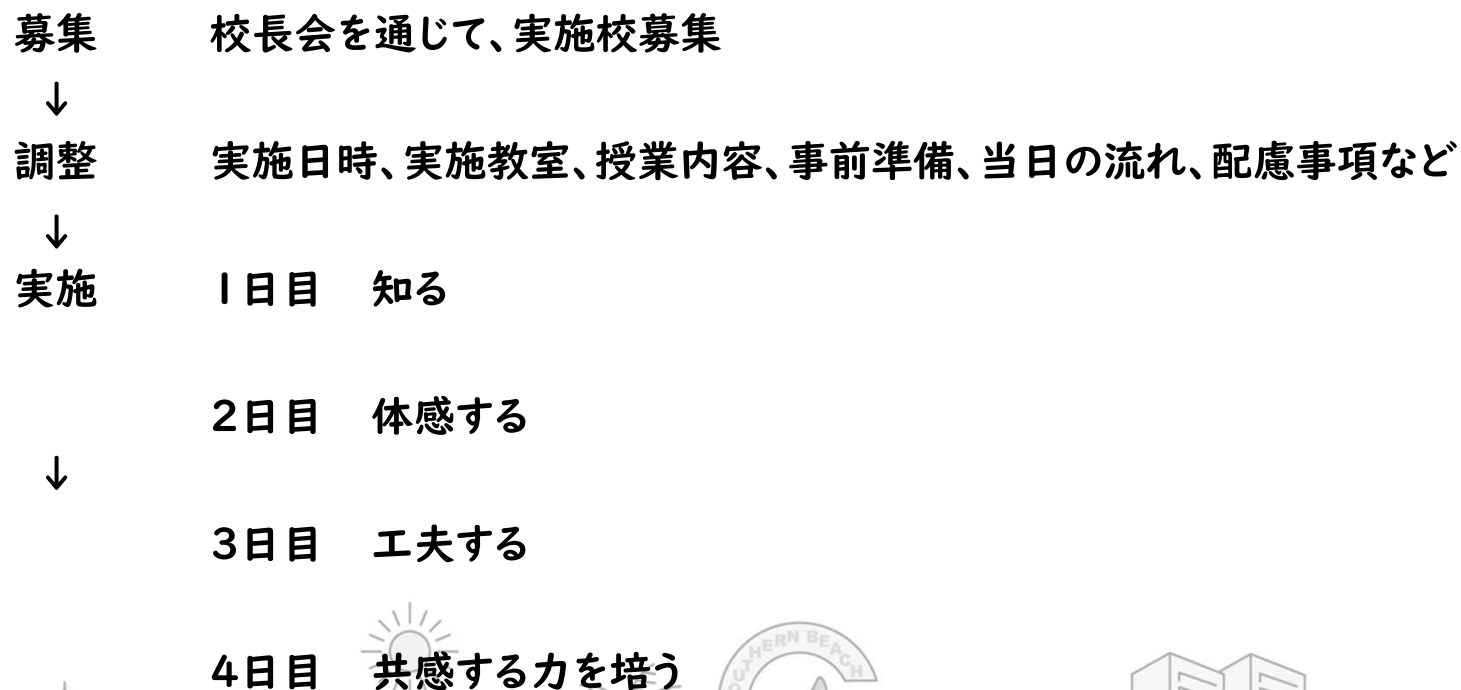


【経緯】

平成27年度	茅ヶ崎市バリアフリー基本構想策定
平成28年度	茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会・市民部会を設置
令和元～4年度	鶴嶺小で実施
令和5年度	鶴嶺小、松林小、松浪小、室田小、汐見台小で実施（4校募集に対し、5校応募）
令和6年度	鶴嶺小、鶴が台小、東海岸小、汐見台小で実施（4校募集に対し、9校応募）



【実施の流れ】



【1日目：知る】

さまざまな人がいて、それぞれ困ってしまう場面が違うことを知る

都市政策課職員による講義 90分(45分×2)

・説明

自分と異なるさまざまな人がいること

自分の当たり前 ≠ 誰かの当たり前

困っていそうな人がいたら、声をかけること

・動画

☆ 決めつけず、相手とコミュニケーションを取ること

・グループワーク

自分と異なる人が直面する困りごとを想像し、共感すること



【2日目：体感する】

交流を通じて、自分とは異なる困りごとがあることを体感する

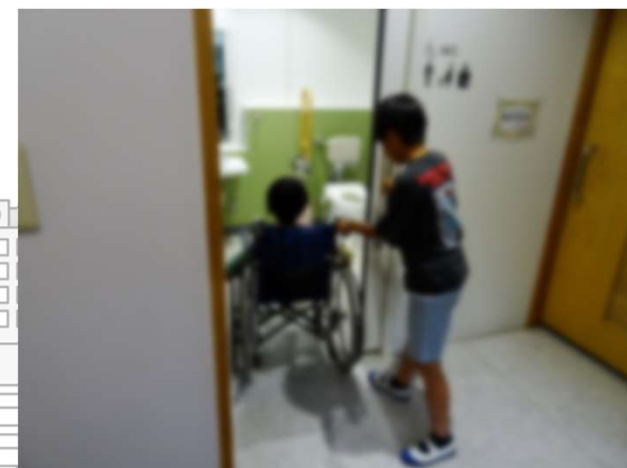
障がい者（肢体不自由、視覚、聴覚）との交流 45分

・対話

日常生活、社会生活において、どのようなことに困るか
身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインについて
サポートを受けて嬉しかったこと

・体験

✧ 手洗い場、トイレ、階段などに行って体験してみる



【3日目：工夫する】

遊びの工夫を通じて、自分にもバリアを解消できることを学ぶ

障がい者（肢体不自由、視覚、聴覚）との交流 45分

・遊び

いつもの遊びの何が支障になるか想像する

いつもの遊びを工夫する

障がい者と楽しい体験を共有する

工夫してうまくいったこと、うまくいかなかったこと



【4日目：共感する力を培う】

目に見えない障がい等を知り、すべての人が抱える困難に共感する力を培う

都市政策課職員及び茅ヶ崎いんくる隊による講義 45分

- ・ 説明、模擬体験

情報の一部に反応・集中することについて

細かな手先動作が苦手なことについて

あいまいな表現が分かりづらいことについて

- ・ 茅ヶ崎いんくる隊によるお話

目に見えない障がいのある人の困りごとについて



令和6年10月17日
総合教育会議 資料I



心のバリアフリー教室を通じて、
障がい理解や障がいの疑似体験に留まらず・・

多様な他者とコミュニケーションをとって
お互いが理解を深め、支え合う



学校全体、ひいては市内全体が、
誰もが安心して過ごせるまちになることを目指します

ご清聴ありがとうございました

